

令和5年度

災害対応特殊消防ポンプ自動車  
(吉田ポンプ1)

仕 様 書

燕・弥彦総合事務組合

## 第1 総則

### 1 目的

この仕様書は、燕・弥彦総合事務組合（以下「事務組合」という。）において、令和5年度に購入する災害対応特殊消防ポンプ自動車（吉田ポンプ1）（以下「本車両」という。）の一切に適用する。

### 2 概要

本車両は、3トン級消防専用シャシに消防ポンプ装置、小型水槽（約600リットル以上）、圧縮空気泡消火装置等、消火活動上必要な資機材を装備し、一般建物火災等の消火活動を迅速確実に行うことができる消防ポンプ自動車である。

### 3 適合法令等

本車両の制作は、仕様書及び承認書によるほか、次に掲げる法令等に適合し、緊急自動車として承認を得られるものとする。

また、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」に適合し、製造工場については品質管理システム（ISO認証取得）を構築していること。

- (1) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）
- (2) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (3) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (4) 道路交通法（昭和35年法律第105号）
- (5) 緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年消防第49号）
- (6) 消防用車両の安全基準について（平成19年3月 日本消防検定協会）
- (7) その他関係法令等

### 4 製作上の問題処理

- (1) 仕様内容に疑義が生じた場合は、事務組合に速やかに連絡し、承認又は指示を受けること。
- (2) 仕様変更は、事前に契約担当課及び事務組合担当者との打合せのうえ、変更承認図を提出し承認を受けること。
- (3) 本車両製作にあたり、工業所有権その他の法令に抵触する問題が生じたときは、受注者においてこれらの問題を解決すること。

### 5 製作上の注意

消防車両として最適の構造及び性能を十分に有し、次のとおりとすること。

- (1) 車両全般にわたり防水措置、防錆措置及び防食措置を十分に行うこと。特に下廻りの部材の継ぎ目は、すべてシーリングを施すこと。
- (2) 清掃・点検・調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- (3) 使用取扱い上の安全性・操作性を十分に考慮したものであること。

- (4) 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分に考慮すること。
- (5) 堅ろうにして長期の使用に十分耐え得るものであり、かつ、維持管理が経済的に行えるものであること。
- (6) 水洗い整備ができるとともに、残水等の生じない構造とすること。また、フェンダー等で器具接触等により塗装剥離のおそれのある部分には、適切な保護対策を講じること。
- (7) シヤシ等は、すべて新規製品を使用すること。
- (8) 法令点検整備が容易に行える構造とすること。

## 6 規格及び表示

本車両に使用する材料及び部品は、特に指定するものを除き、すべて日本産業規格(J I S)のものを使用すること。ただし、ネジ類については、I S Oネジ又はこれに準じたものを使用すること。

また、本車両に使用する単位等の表示は、すべてS I単位で表示すること。

## 7 登録の費用

本車両の新規登録に関する一切の経費については、受注者の負担とする。ただし、本車両にかかる自動車損害賠償責任保険・自動車重量税及び自動車リサイクル法にかかわる経費は事務組合が負担する。

## 8 登録の代行

本車両製作完了後、受注者は新規登録のための手続きを代行し、北陸信越運輸局新潟運輸支局長の行う当該検査に合格させること。

## 9 保証期間

本車両の保証期間は納車後2年間とし、保証書を提出すること。ただし、保証期間経過後といえども、設計・製作・材料等の不良に起因する不具合の発生については、受注者において無償で修復又は取替え等を行うこと。

なお、故障等が生じた場合の修理等については、速やかに対応すること。

## 10 事故防止

受注者は艤装及び車両の移動にあたって、事故防止に万全の注意を払い、万一事故が発生した場合は、速やかに事務組合に連絡するとともに、その事故等について一切の責任を負うこと。

## 11 検査

- (1) 受注者は、事務組合が行う検査を受けること。
- (2) 事務組合が適当と判断する時期に受注者製作工場で艤装の中間検査を行うこと。  
ただし、経費については、事務組合が負担するものとする。(別途協議)
- (3) 車両完成時には、各検査を行うものとし、検査時の写真及び「計量証明書」「転覆角度実

測証明書（車両安定傾斜角度測定表）」を車両納入時に提出すること。

ア 完成車重量測定検査

イ 完成車転覆角度検査

- (4) 納車検査は、新規登録後に行うものとし、原則、車両・取付品・積載品・付属品すべてを一括して行うものとするが、積載品・付属品については、事務組合と協議し、納品可能な物品から納品し検査を実施するものとする。

検査の結果、不備事項又は不合格がある場合は、事務組合が指示する日までに改修又は取替えを行い、再度検査を受けるものとする。

- (5) その他必要に応じ検査を行うものとする。

## 第2 提出書類

### 1 提出書類

- (1) 「入札参加申込書」提出時に、次の書類を提出すること。

品質管理システム（ISO認証取得）構築の書類（写し）

- (2) 製作承認図書類・完成図書及び取扱説明書は、A4判のファイルに一括して綴じること。  
（写真は除くこと）

- (3) 図面は、すべてA3判とすること。

- (4) 外国製品の書類等については、すべて日本語に翻訳すること。また、各単位にはSI単位を併記すること。

- (5) 外注先一覧表・・・1部

製作を外注する場合は、次の内容の外注先一覧表を事務組合に提出すること。

ア 会社名

イ 所在地

ウ 電話番号

エ 外注内容（品目及び作業内容等）

- 2 着手届・・・1部

承認図書の審査を受けた後、着手届を提出し、着工するものとする。

- 3 全体工程表・・・2部

契約後1箇月以内にシャシの製作を含めた全体の工程表を事務組合に提出すること。

- 4 進捗状況の報告

工程ごとの進捗状況を示す書類、写真を1部提出すること。

- 5 製作承認図書類・・・3部（返却分1部含む）

受注者は、艀装開始前に仕様書に基づく次の書類を提出し、事務組合の承認を受けること。

- (1) 艀装工程表 (外注先の作業工程を含む)
- (2) 製作承認図
  - ア 艀装外観5面図
  - イ シャシ2面図
  - ウ ホース収納位置図 (積載可能本数明示) 及び資機材等収納部詳細図並びに各種取付装置等詳細図 (3面図)
  - エ 車体骨組図
  - オ 水槽関係図
  - カ ポンプ関係図
  - キ 真空形成装置関係図
  - ク 圧縮空気泡消火装置の関係図及び諸元表
  - ケ 配管図及び配管系統図
  - コ 電気配線図 (種類、電球、リレー・ヒューズ・アンペア数等を明示したもの)
  - サ キャブ改造図 (空気呼吸器固定装置を含む)
  - シ 諸元明細図
  - ス その他、事務組合が指示するもの。

## 6 完成図書

- (1) 納入時に次の書類 (A4判に製本) を2部提出すること。
  - ア 日本消防検定協会が行う消防ポンプ自動車用機関の試験結果 (写し)
  - イ シャシの図面
  - ウ 動力伝達装置 (P. T. O) の図面
  - エ エンジンオイル冷却装置の図面
  - オ シャシの改造関係 (キャブ取付品その他) の図面
  - カ シャシ艀装資料
  - キ シャシの諸元明細書又は詳細な仕様書
  - ク シャシカタログ
  - ケ シャシ使用電球型式一覧表 (型式・ワット数明示、増設部含む)
  - コ シャシ使用ヒューズ型式一覧表 (型式・アンペア数明示、増設部含む)
  - サ シャシ電気配線図 (増設部)
  - シ オイルパンヒーターの図面及び諸元表
  - ス 艀装外観5面図
  - セ 完成車の最小回転半径の走行軌跡図
  - ソ 使用材料一覧表
  - タ 車体骨組図
  - チ 水槽関係図
  - ツ 配管図及び配管系統図
  - テ ポンプ関係図及び諸元表
  - ト 真空形成装置関係図及び諸元表

- ナ 圧縮空気泡消火装置の関係図及び諸元表
- ニ 各電装品の配線施工図（メンテナンスを考慮したもので、リレー・ヒューズ・リミットスイッチ・安定器等の設置位置を具体的に示したもの）
- ヌ ホース収納位置図（積載可能本数明示）及び資機材等収納部詳細図並びに各種取付装置詳細図（3面図）
- ネ 装備品等一覧表（品名、数量、製作会社名、型式等）
- ノ 装備品等のカタログ又は写し（諸元明示）
- ハ 装備品等の使用油脂類一覧表（整備上必要なもの）
- ヒ 使用電球型式等一覧表
- フ 使用ブレーカー（ヒューズ）型式一覧表
- ヘ 消防ポンプ装置の性能試験結果
- ホ 日本消防検定協会による消防ポンプ装置の消防受託試験合格及び安全基準適合プレート（写し）
- マ 日本消防検定協会による品質評価の表示
- ミ 改造自動車等審査届出書（写し）
- ム 計量証明書（写し）
- メ 転覆角度実測証明書（写し）
- モ 自動車検査証（写し）
- ヤ その他、事務組合が指示するもの。

(2) 取扱説明書・・・2部

- ア シヤシ取扱説明書（シヤシ取付品含む）
- イ 消防ポンプ装置取扱説明書（整備解説書含む）
- ウ 圧縮空気泡消火装置取扱説明書（整備解説書含む）
- エ 資機材及び取付品等の取扱説明書（整備解説書含む）

7 写真（写真及び写真を保存したメディア）

次に掲げる写真（A4判ファイルに製本）を各4部提出すること。

また、カラーL判写真及び写真を保存したメディアを提出すること。

- (1) 製作工程に基づく工程写真（シヤシから完成車両までの状況）
- (2) 工程ごとの塗装状況が確認できるもの。
- (3) 完成車両（新規登録後でナンバー付）上部前後左右の正面及び斜めから撮影したもの。
- (4) 資機材収納部の状況
- (5) 緊急自動車事前届出用（上部前後左右の正面から撮影、新規登録前のもの）
- (6) 緊急自動車届出用（上部前後左右の正面から撮影、新規登録前のもの）
- (7) その他、事務組合が指示するもの。

8 無償点検整備

納車後3箇月の法定定期点検整備は、受注者が無償で行うこと。

## 9 取扱い説明

納入者は事務組合が指示するとおり、本車両及び艤装装備品等の取扱いについて専門係員を派遣し、小隊別に2日間、取扱い説明を行うこと。

また、取扱い説明用の動画を作成し提出すること。(別途協議)

## 10 その他

道路交通法施行令第13条の規定に基づく緊急自動車の届出事務処理上必要なものとして、当該車両の車両型式・車体番号が記載されている書類及び前記「7(5)」の写真を新規登録日の10日前までに事務組合に提出すること。

なお、緊急自動車の届出は受注者が行い、納入前までに燕警察署へ届出るものとする。

## 第3 仕様

### 1 材質の規格

(1) 材料及び部品は、すべて新規製品を使用すること。

(2) 主要材料の材質は、次のとおりとすること。

ア 骨組等主要構造は、一般構造用圧延鋼材(S S 4 0 0)以上の強度を有する材料を使用すること。

イ ポンプ主要部品は、青銅鋳物(B C 6)以上で耐久性に富んだ材料を使用すること。

ウ ポンプシャフトは、ステンレス鋼(S U S 4 0 3)以上の強度を有する材料を使用すること。

エ 主配管は、配管用炭素鋼管又は同等以上の強度及び耐久性を有するものとする。

オ 放水口等のボールコックは、青銅鋳物(B C 6)以上で耐久性に富んだ材料を使用すること。

カ 泡消火薬剤の配管及び附属部品は、耐久性及び強度を有すること。

(3) ステップ等は、アルミ縞鋼板を使用すること。

(4) 保護枠・計器盤・蝶番・手摺り・握り棒等その他金属露出部分及び外部に取付けるボルト・ナット類はステンレス製部材を使用すること。

(5) シーリング材は、弾力性があり経年劣化により硬化しにくいものを使用すること。

(6) 潤滑油及び各種作動油は、各メーカーが指定するものを使用し、規定量を入れておくこと。

(7) 電池及び電池パックを使用するものは、各メーカーが指定するものを使用し、必要数を入れておくこと。

(8) その他の材料は、次によること。

ア プラスチック類は、すべて難燃性及び耐油性、更に耐候性及び耐寒性に優れたものを使用すること。

イ ゴム製品は、すべて耐油性及び劣化性、更に耐熱性及び耐寒性に優れた合成ゴムを使用するとともに、交換が容易な取付け方法とすること。

## 2 主要諸元

本車両は、下記のシャシに高圧二段バランスタービンポンプ又は1段ポリユートポンプと600リットル以上の小型水槽を装備し、河川・消火栓等の水利から強力な放水をなし、一般火災等に対し速やかに活動できるものとする。

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 型式         | キャブオーバーダブルキャブ型（消防専用シャシ）                                |
| (2) エンジン       | 水冷4サイクル ディーゼルエンジン                                      |
| (3) 排気量        | 4,000cc以上  |
| (4) エンジン出力     | 150PS以上  |
| (5) 軸数         | 2軸   |
| (6) 駆動方式       | 4輪駆動   |
| (7) 変速装置       | マニュアルトランスミッション（MT）                                     |
| (8) ホイールベース    | 2,750mm以上2,800mm以下                                     |
| (9) 車両寸法       | 全長：5,800mm以下<br>全幅：2,000mm以下<br>全高：3,200mm以下           |
| (10) 車両総重量     | 7,000kg未満（別表の積載品重量を含む）                                 |
| (11) 操縦補助装置    | パワーステアリング装置  |
| (12) 乗員人員      | 5名（前席2名、後席3名）  |
| (13) オイルパンヒーター | キャップ、15m専用コード  |
| (14) キャブチルト    | 電動油圧式（緊急時に手動操作可能なもの）                                   |
| (15) 燃料タンク     | 60リットル以上   |
| (16) 動力伝達装置    | フルパワーP.T.O   |
| (17) その他       |  |
| ア              | オルタネーター出力（24V－80A以上）                                   |
| イ              | エアコン（純正品）リアヒーター（別途協議）                                  |
| ウ              | VSC（車両安定制御システム）装置                                      |
| エ              | EBC（電子制動力分配制御）機能付ABS（アンチロックブレーキシステム）装置                 |
| オ              | TRC（トラクションコントロール）装置                                    |
| カ              | 坂道発進補助装置   |
| キ              | 前照灯（LED）   |
| ク              | フォグランプ（LED）  |
| ケ              | パワーウィンドウ（全ドア）  |
| コ              | 集中ドアロック（全ドア）   |
| サ              | 室内灯（LED式）  |
| シ              | カーナビゲーションシステム<br>（地デジチューナー内蔵、カーオーディオシステム内蔵（AM・FMラジオ等）） |
| ス              | バックアイカメラ   |
| セ              | ドライブレコーダー（タッチパネル式）                                     |
| ソ              | シート防汚カバー（全席）   |



- タ 泥除けゴム（全輪）
- チ キーレスエントリー（3個）
- ツ ステンレスナンバー枠（前・後）
- テ サイドバイザー（全ドア）
- ト サンバイザー（運転席、助手席）
- ナ フロアマット（前席、後席）
- ニ フロントバンパー上面アルミ縞鋼板張り（別途協議）
- ヌ その他メーカー標準装備品
- ネ その他（別途協議）

### 3 シャシの規格

- (1) 令和5年度に製作されたものを使用すること。
- (2) 日本消防検定協会の検定（消防受託試験）に合格したものとすること。
- (3) ダブルキャブ3トンの消防専用シャシとすること。
- (4) 平成28年排出ガス規制（2016年規制）に適合した3箇月以内に製造されたものとすること。
- (5) この仕様書において指定した装備品以外のものについては、消防専用シャシとしてメーカーが公認している標準品が装備されていること。

### 4 キャブの構造

#### (1) キャブ外装関係

- ア 構造は、エンジンの点検等を容易にするため、電動キャブチルト装置付とし、落下防止用の支え棒等を取付けること。
- イ 鋼板及び軽量かつ十分な強度を有し、耐熱性・耐候性に優れたFRP素材を複合したキャブオーバーダブルキャブ型とすること。
- ウ 天井部は、ハイルーフとし、居住性及び機能性に優れた構造とすること。
- エ ハイルーフは、低重心化を図るため、軽量で強度のある炭素繊維強化プラスチック（CFRP）と金属を組み合わせた炭素繊維複合材料又はガラス繊維強化プラスチック（FRP）等を使用すること。
- オ 赤色警光灯は、キャブと一体型とし、省電力で球切れの少ないLED灯を内蔵すること。  
また、スピーカー50Wは、キャブ内の静粛性を保つためにアクティブ制御方式とし、モーターサイレンをキャブ前方中央部にキャブ一体型（防雪カバー付）として収納すること。（キャビンとセパレート型は不可とする。）
- カ キャブルーフ左右側面に埋込式の標識灯を取付けること。  
また、キャブルーフ左右側面の標識灯上部に作業灯を取付けること。
- キ フロントグリルは、メッキ仕様とすること。
- ク 消防章をフロント部に黒色の台座を設けて取付けること。
- ケ フロントガラス上部左右対称の位置に手摺りを取付けること。

- コ フロントバンパー上部は、3.0mm厚のアルミ縞鋼板張りとする。 (別途協議)
- サ 乗降用の手摺りを両側面に取付けること。
- シ 左右サイドミラーにくもり止めヒーターを取付けること。
- ス 左側サイドミラー付近に助手席用補助サイドミラーを取付けること。
- セ 各ドアの昇降口フェンダーに外板損傷防止用アルミ製保護板 (アルミプロテクター)を取付けること。
- ソ バッテリー収納位置は右側面後部ドア下部とし、シャシフレームより補強したレール付引出し装置を取付けること。  
また、バッテリーはスライド式で容易に点検ができ、固定及び解除できるロック装置を取付け、乗降の支障とならないようにすること。
- タ 運転席側にオイルパンヒーター用マグネット式コンセント (キャップ付)を取付け、差込口脇にピン式の入切スイッチを設けること。  
なお、ヒーターはAC100Vを電源として、バッテリー充電器兼用であること。  
また、配線及び結線部は露出のないようにするとともに、漏電及び防水対策を十分に施し、出動時に抜きやすく、配線の折れ曲がり等のリスクを抑制すること。
- チ エンジンオイルレベルゲージは、キャブチルトしなくても点検ができること。
- ツ 牽引フックを前部フロントバンパー内に取付けること。

## (2) キャブ室内関係

- ア バックミラーを改良し車両後方を常時監視できるモニターを取付けること。  
(8インチモニター) (別途協議)
- イ エアコンは、車両メーカーの純正品とすること。
- ウ 座席はボストロムシートとし、後部座席は3席仕様とする。
- エ 全席にシート防汚カバーを取付けること。(別途協議)
- オ 助手席シートは、空気呼吸器及び面体が収納できるように埋込型シートとし、背当てにキャビティーカバーを設けること。(別途協議)
- カ 運転席と助手席の間に小物収納パターンのボックスを取付けること。(別途協議)
- キ 中央上部に小物入れ用の収納棚 (大型ルーフセンターコンソール)を取付け、(床面パンチング) 棚内には仕切りを設けること。(別途協議)  
また、棚の手前側には収納物の飛び出し防止の措置をゴム製ネットで講じること。  
棚奥運転席側側面には運転席と助手席間頭上に数ヶ所フックを取り付けること。
- ク 中央上部収納棚下部に携帯用拡声器1個を固定できる装置を取付けること。  
(別途協議)
- ケ 後部座席前方に後部座席隊員用のステンレス製手摺りを取付けること。  
なお、S字環フック (ビニールコーティング付)を8個取付け、走行中の振動等により金属音を発しないようにすること。(別途協議)
- コ 後部座席前方の手摺り中央付近に、後部足元空間を考慮した前方張出方式でA3サイズ縦型地図収納ボックス (パンチング板)を取付けること。  
また、ボックス前方側面にキャブ内100Vコンセントを設置すること。
- サ ルーフネットを数箇所取付けること。

- シ 後部座席用にリアヒーターを設置すること。(別途協議)
- ス 後部座席下部には、可能な限り収納スペースを設けること。(別途協議)
- セ 後部座席後方にクイックホルダー仕様の空気呼吸器固定装置を3基取付け、その付近に背当てとしてクッションを設けること。  
また、着座した状態でも容易に脱着できるレバー（長い取っ手に改良したもの）を座席右側に取付けること。  
加えて、空気呼吸器固定装置付近に面体掛用フック3箇所取付けること。(別途協議)
- ソ 空気呼吸器固定装置上部に小物入れ用の天板開放型収納棚（ルーフリアコンソール）を取付けること。(床面パンチング)  
また、棚の手前側には収納物の飛び出し防止の措置をマジックベルトで講じること。
- タ 空気呼吸器固定装置上部収納棚（ルーフリアコンソール）下部にステンレス製物掛け手摺りを取付けること。  
なお、S字環フック（ビニールコーティング付）を8個取付け、走行中の振動等により金属音を発しないようにすること。(別途協議)
- チ LED室内灯を設けること。
- ツ 大型デジタル時計を設けること。(別途協議)

## 5 車体の構造

### (1) 車体全般

- ア 艀装は、総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- イ 車体の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- ウ 側板は、一般構造用圧延鋼材(S S 4 0 0)を使用し、周囲を外側に折り曲げ加工し、各ステップは、アルミ縞鋼板にて端部周辺を折り曲げ加工及び滑り止め加工した構造とすること。
- エ 形状は箱型とし、左右側面(前・後)、後面それぞれ1枚の手動式アルミシャッターとし、開閉は、ワンタッチでスムーズに行えること。  
また、ボデー両側面の収納部である後輪前部ステップ、後輪後部BOX部ステップと後輪フェンダー部については、ステップ兼用扉を設け、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。(別途協議)  
なお、ステップ厚み部に反射テープを取付けること。
- オ ステップ（ステップ兼用扉含む）には防滑用テープ（黒色）を貼り付けること。
- カ 手動式アルミシャッターは、それぞれ開放時に確認できる警告灯を取付けること。(別途協議)
- キ ポンプ室は、密閉式とし、清掃・点検・調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- ク 燃料タンクは、シャシ固有の位置に取付けること。
- ケ 給油口には、燃料の種類と容量を記入すること。
- コ 各操作部（ハンドル・レバー・スイッチ等）には名称及び操作方法を明記すること。

- サ 左右側面(前・後)シャッター内及び後面シャッター内は、積載資機材の固定並びに脱着が容易な固定装置(固定金具、ワンタッチベルト等)を設けること。(別途協議)
- シ ドライブレコーダーを適切な位置に取付けること。
- ス 全輪にゴム製の泥除けカバーを取付けること。
- セ タイヤはスタッドレスタイヤを装着し、納品すること。  
車両に取付けしてあるものと別に予備のスタッドレスタイヤ1本(ホイール付)、普通タイヤ6本(ホイールなし)を納品すること。

## (2) 車体上部

- ア 雨水が滞留及び車体内部へ浸水しない構造のアルミ縞鋼板張りとする事。
- イ 両側に立ち上げパネルを設けること。
- ウ 右側には、資機材を収納するためのアルミ縞鋼板製ボックスを設けること。
- エ 吸管を4本積み上げる方式で収納できるよう取付けること。(別途協議)

## (3) 車体側面

### ア 側面全般

- (ア) 左右側面前方シャッター内に吸水口・放水口・中継口を設けること。
- (イ) 左右側面前方シャッター内の操作しやすい位置に冷却水バルブ・冷却水グラス等の装置を設けること。
- (ウ) 左右側面前方シャッター内にスパナ等の固定装置を取付けること。
- (エ) 左右側面前方シャッター内に防火服等を掛けるためのハンガーフックを取付けること。(別途協議)
- (オ) 左右側面前方シャッター内のポンプ室上部ボックスは、左右貫通式収納仕様として、二重巻きホースやホースバッグ、ロープ等を収納できる上下三段式のスペースとすること。(別途協議)  
また、資機材落下防止として、一段目、二段目はマジックベルト仕様、三段目は間口上下可動手摺仕様とすること。
- (カ) 左右フェンダーは、展開式とし、フェンダー内側にアルミ縞鋼板を張付け、ステップとして兼用できる構造とし、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。(別途協議)(別途協議)
- (キ) 左右側面前方部に車体上部への昇降が行いやすいようにステップを設けること。  
なお、ステップは折畳みができる構造とすること。
- (ク) 指定する箇所に、再帰性に富んだ反射材を使用し、バッテンバーグマーキングを施す等、夜間の視認性向上を図ること。(資料参照・別途協議)

### イ 右側面

- (ア) 後輪前部及び後輪後部BOX部並びにフェンダー部にステップ兼用扉を設け、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。
- (イ) 後方シャッター内にホース及び各種資機材を収納すること。(別途協議)
- (ウ) 前方シャッター内の床面に着脱可能なアルミボックスを設置すること。  
(別途協議)
- (エ) 前方シャッター内吸管側の床面にスムーズノズル2個を収納する受け具を設置

すること。(別途協議)

(オ) キャブ後方に車輪止めを地面と平行に収納するトラップ金具方式の取付装置を取付けること。

ウ 左側面

(ア) 後輪前部及び後輪後部ボックス部並びにフェンダー部にステップ兼用扉を設け、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。

(イ) 後方シャッター内に電動式吸管巻取装置(後方引出式)を設けること。

また、吸管収納部の表面に資機材貼付用パンチング板を設置し、各器具を収納できるようにすること。(別途協議)

(ウ) 前方シャッター内進行方向側の床面にアルミボックスを設置すること。

BOXの大きさについては、別途協議。

(エ) 前方シャッター内吸管側の奥行部分に吸管スパナを設置すること。

(オ) 後方シャッター内の吸管巻取装置下部床面にアルミボックスを設置すること。

ボックスの大きさについては、別途協議。

(カ) 後方シャッター内の吸管巻取装置上部のスペースにスタンドパイプ等を収納できるようにすること。

(4) 後面

ア 右側に昇降用の折り畳み式アルミ合金製梯子を取付けること。使用時以外は留具に収まる構造とし、走行中の衝撃に十分耐えられるように取付けること。

また、梯子横さんの踏み面に、滑り止め加工を施すこと。

イ シャッター内は、加納式ホースカーの収納スペースとすること。

ウ 加納式ホースカー収納部奥に右側面後方シャッター内の一部との貫通式資機材収納庫を設け、エンジンカッター、照明器具、予備ボンベ(飛び出し防止措置あり)等を積載するスペースとすること。(別途協議)

エ バックアイカメラを取付け、上部に保護カバーを設けること。

オ テールランプは、視認性の高いLED式とすること。

カ オーバーハングや坂道等で最後部下部が擦れない構造とすること。

キ 指定する箇所に、再帰性に富んだ反射材を使用し、シェブロンマーキングを施す等、夜間の視認性向上を図ること。(資料参照・別途協議)

6 電装品

(1) キャブブルーフは、FRP製で赤色警光灯一体型(スピーカー内蔵)とすること。

(2) キャブブルーフ上には、ルーフ埋込型LED式赤色警光灯を取付けること。

(3) LED式赤色点滅灯

ア フロント前照灯上部左右対称の位置に各1個取付けること。

イ フロントバンパー左右側面对称の位置に各1個取付けること。(別途協議)

ウ 車体上部立ち上げパネル左右側面对称の位置に各2個取付けること。

エ 車体後面上部左右対称の位置に各1個取付けること。

(4) キャブブルーフ左右側面对称の位置に埋込式の標識灯を各1個取付けること。

(5) 作業灯

- ア キャブーフ左右側面標識灯上部に各 1 個取付けること。
- イ 車体上部立ち上げパネル左右側面对称の位置に各 2 個取付けること。
- ウ 車体後面上部左右対称の位置に各 1 個取付けること。

(6) キャブ内を有効に照明できる LED 式室内灯(天井埋込型)を設け、ドアスイッチと切替えスイッチの両用で使用できる構造とすること。また、助手席天井部に 1 箇所、後部座席天井部に 3 箇所の LED 式マップランプを取付けること。

(7) 車体上部前方右側に伸縮式の照明装置を 1 個取付けること。押上型伸縮柱を右側面のキャブと車体前部の間に設置し、手動により伸縮柱を上昇下降させ、照明を上下左右に動かすことができること。(別途協議)

(8) 各シャッター室内上部及びポンプ室上部にシャッターの開閉と連動して点灯する LED 式照明灯を取付けること。また、シャッター内蔵型 BOX 灯を設置すること。

(9) 両側後輪付近の適当な位置に保護枠付き LED 式路肩灯を取付けること。

なお、点灯はシャシスモールランプと連動すること。

(10) 車体左側面前方下部ボックス内にボックスドア開閉と連動して点灯する LED 式照明灯を設けること。

(11) 電装品のスイッチは、十連スイッチとし、オーバーヘッドコンソール内に取付けること。(別途協議)

(12) 各装置のヒューズはダッシュボックス付近に専用のボックスを設け、ヒューズごとに銘板を取付けること。

(13) 電子サイレン

- ア サイレン装置は、機能集中型操作スイッチを取付けること。
- イ 取付け位置は、キャブ内オーバーヘッドコンソール内の適当な位置に取付けること。(別途協議)
- ウ アンプは、50W 以上で電子サイレン・電子警鐘・拡声機能及び音声合成機能を有するものとする。
- エ スピーカーは、FRP 製赤色警光灯一体型に内蔵する専用スピーカーとすること。

(14) 電動モーターサイレン

- ア モーターサイレンは、FRP 製赤色警光灯一体型に内蔵すること。
- イ スwitchは、十連スイッチ内に設けること。
- ウ 助手席足元にペダル式のスイッチを設けること。

(15) 確認灯

ホースカー電動昇降装置の固定解除を示す確認灯を十連スイッチ内に設けること。

(16) フレキシブルマイク

運転席右側上部に取付け、直近にスイッチを設けること。

(17) 後退警報器

ON・OFF 切替えスイッチを設け、音声式とすること。

7 ホースカー及び電動昇降装置

(1) ホースカーは、車輪が折り畳める加納式とし、65mm 消防用ホースが 8 本以上収納で

きること。

また、分岐金具・媒介金具・スパコンノズル・ガンタイプノズルの取付け装置を設け、蓋上部にホースバッグ等を載せた際にずれ落ちることを防ぐ枠を取り付けること。

(別途協議)

- (2) ホースカーに65mm消防用ホースを8本以上積載した状態で昇降できる電動昇降装置を後面シャッター内に取付けること。
- (3) 万が一、電動昇降装置が作動しなかった場合は、手動での昇降操作ができること。
- (4) 操作スイッチは、後面の適当な位置に取付けること。
- (5) ホースカーは、停車時に自走しないようにブレーキ装置を設けること。

## 8 手動式梯子昇降装置

- (1) 車体上部左側にチタン製三連梯子を積載するための手動式梯子昇降装置を取付けること。
- (2) 梯子昇降装置は、キャブチルトと連動し、三連梯子がキャブ屋根上に張り出しているときは、電動キャブチルト操作が行えない安全装置を取付けること。
- (3) 梯子昇降装置には、三連梯子を積載し容易に取出しできるように展開式とすること。
- (4) 梯子固定装置は、二重構造の安全かつ確実なもので、容易に固定・解除ができる構造とすること。
- (5) 梯子固定装置には、梯子横ずれ防止用のサイドガード等を取付けること。
- (6) 梯子昇降装置基台側面には、とび口を2本取付けられる装置を設けること。

## 9 無線電話装置

- (1) 無線電話装置本体をオーバーヘッドコンソール内に取付けること。(無線電話装置本体は、現車両の装備品を載せ換え、取付けるものとする。配線は新品とすること。)  
(別途協議)
- (2) センターコンソール部の適当な位置にAVM装置を取付けること。(AVM装置は、現車両の装備品を載せ換え、取付けるものとする。配線は新品とすること。)
- (3) 車体前方左右シャッター内の奥行き部分に無線送受信器取付けスペース及びスピーカーを設け、キャブ内無線機との間に配線ケーブルを取付けておくこと。(アンテナ・AVM外部設定器制御ケーブル・車外通話装置は新品とすること。)
- (4) キャブ上面の必要な箇所に無線、AVMに必要なアンテナ入線孔を必要数設けること。
- (5) 消防ポンプ自動車(名称:吉田ポンプ2)「新潟800さ7540」の無線電話装置を外し、消防ポンプ自動車(名称:吉田ポンプ1)「新潟800す5572」に移設し、消防ポンプ自動車(名称:吉田ポンプ1)「新潟800す5572」から外した無線電話装置を本車両に移設すること。(別途協議)

## 10 電気装置

- (1) バッテリーは、JIS規格130E41R以上のものを2個とすること。  
また、バッテリー引出装置から引き出した状態においても支障のないようコード類は

十分余裕をもたせること。

(2) オルタネーターは、24V-100AH以上の中低速回転タイプとすること。

(3) 電気装置は、直流24Vのマイナスアース式とすること。

## 11 水ポンプ装置

### (1) ポンプ

ア 高圧二段バランスタービンポンプ又は1段ボリュートポンプ

イ ポンプ性能 A-2級

規格放水性能 送水圧力0.85MPaにおいて放水量2,000L/min以上

高圧放水性能 送水圧力1.40MPaにおいて放水量1,400L/min以上

(2) 水ポンプは、シャシエンジンのP.T.Oにより駆動され、P.T.Oの操作は、運転席及び車体左右のポンプ操作装置に設けられたスイッチにより行うものとする。

(3) P.T.Oは、シフトレバーが「N(ニュートラル)」レンジで駐車ブレーキが作用している状態でのみ接続可能とすること。

(4) 材質は、各装置による重量増を解消するため本体をアルミ製とすること。

ただし、インペラーについては砂利等の混入にも対応できるよう強度・腐食性を考慮し青銅铸件とすること。

(5) グランド部は、不凍液等を必要としない完全メンテナンスフリーのメカニカルシールとすること。

## 12 真空形成装置

(1) 資機材収納スペースの確保及び軽量化、故障リスクを少なくするため、圧縮空気泡消火装置のコンプレッサーから吐出される空気を利用して真空状態を形成するエゼクター方式真空形成装置とすること。

(2) 操作は、押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。

なお、非常用の別系統スイッチを車体右側面前方シャッター内の適当な位置に取付けること。

(3) 真空形成作動は、破損防止のため、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とし、回転が高い場合には自動的にエンジン回転を低下させたのち、適正回転まで上昇する構造とすること。

(4) 真空性能は吸管外端閉塞にて30秒以内に大気圧の84%とすること。

## 13 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は、車体左右側面前方シャッター内に取付け、操作員が安全かつ容易にポンプ操作が行えるよう、次の機能を有するものとし、ひとつの操作盤ですべてが行えるものとする。

(1) 圧力計・連成計(リタード式)は、ステッピングモーターを用いた電子式(透過照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付)とし、振動等でも針振れがない構造とすること。



(2) ポンプスロットルは、ダイヤル型電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。

(3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するため、スロットルを任意の位置で固定できる安全ロック機能を設けること。

(4) 多目的表示液晶ディスプレイを車体左右側面前方シャッター内に設け、詳細は以下のとおりとすること。

ア 液晶画面

7インチのワイド液晶とし、昼夜に関わらず認識しやすいよう自動調光機能機を装備し、高コントラスト比の低反射型硬質パネルとすること。

なお、寒冷地での使用も鑑み、液晶ディスプレイの使用温度範囲は $-30^{\circ}\text{C}$ ～ $60^{\circ}\text{C}$ とすること。

イ モニター表示

警告モニターとして冷却水、真空形成装置作動タイム及び各種エラーに対する警告表示ができ、なおかつ警報ブザーが鳴るようにすること。

また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニター表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計を各々デジタル数値によりモニター表示ができること。

ウ 流水表示

各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。

エ 流量・積算表示

各吐水口からの状況が分かるようにデジタル数値により表示し、流量範囲によって表示色が変化すること。流量範囲とは筒先を1人持ちで放水できる範囲、2人持ちで放水できる範囲、2人持ちでも放水ができない範囲とする。

また、積算流量計もデジタル数値により表示ができること。

オ 反動力表示

隊員の安全確保のため、各吐水口の放水時使用ノズルでの反動力をニュートン単位で表示できること。パネルスイッチにて流量表示と反動力表示が切替られること。

反動力設定画面によりノズル口径は $\phi 10\sim 65$ 、ホース本数は10本までの範囲で設定できること。

(5) 液晶ディスプレイ内の各種操作及び表示切換は、手袋装着時でも確実に操作が行えるようパネルスイッチとすること。

(6) ポンプ操作装置には、隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設けること。

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐためスロットル固定機能を設けること。

ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作できるものとする。

イ ホース耐圧警報機能

吐水配管の圧力がホースの耐圧を超えると警報音と共に液晶ディスプレイに警告を表示し、圧力がホース耐圧以下となるよう自動で回転を下げるものとする。

また、制御のON、OFF及びホースの耐圧設定は液晶ディスプレイで行えること。

#### ウ 低圧中継警報

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅すること。

### 14 圧縮空気泡消火装置

#### (1) 仕様

ア 水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い消火ができるものとする。

また、発泡倍率が5倍から10倍の消火・火炎鎮圧用湿式泡（ウェット泡）と発泡倍率が16倍から20倍の延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の2種類の泡について、泡管そうを用いることなく吐出可能とすること。

イ 水ポンプ装置から高い圧力を受けても1.0MPaに減圧される構造とすること。

ウ 日本消防検定協会が定めた「圧縮空気泡消火装置の技術基準」に準拠する製品であり、(一財)日本消防設備安全センターの性能評定合格品とすること。

#### (2) 性能

最大水流量600L/min以上、最大空気吐出量3,200L/min以上とし、最大吐出量3,800L/min以上とすること。2線同時に放射しても十分な吐出量が得られること。

なお、泡の吐出量を確認するための泡流量計を液晶ディスプレイに設けること。

#### (3) 操作方法

ア 本装置の操作は液晶ディスプレイで可能なこととし、パネルスイッチ式にて操作ができること。

イ 湿式泡と乾式泡の切替え操作は、液晶ディスプレイにてワンタッチで行えること。

なお、切替え及び変更操作は放水中でも可能であること。

ウ 一定の問題が発生した場合は、液晶ディスプレイにエラー情報を表示すること。

#### (4) 安全機能

ア 泡原液の供給ができなくなった場合、スラッグフロー防止のため、自動的に水のみの放射に切替わる構造とすること。

イ 筒先要員安全確保のため、圧縮空気泡消火装置運転時に適正な回転数にスロットルを上げた後にスロットルを上げようとしても規定回転以上には回転が上がらないよう、スロットル過回転防止装置を設けること。

ウ コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発すること。

#### (5) コンプレッサー

ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤

滑油は補助冷却器により冷却する構造とすること。

なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されること。

イ メンテナンスを考慮し、国産製品とすること。

ウ スペース有効利用のため、真空形成装置兼用とすること。

エ 油温上昇を警告するブザー等を取付けること。

オ 冷却に使用した水は、水槽へ還流すること。

また切替えにより、車外にも排出できる構造とすること。

#### (6) 混合装置

圧縮空気流量を感知して、コンピューター演算により自動的に泡原液量を調整して、混合比を設定する電子式比例混合式とすること。混合比は液晶ディスプレイ内で表示、パネルスイッチにて設定ができること。

なお、混合比の変更は放水中でも可能なこと。

また、原液濃度の設定は、0.3%から1.0%の8段階の設定可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイ内で表示、パネルスイッチにて設定ができること。

#### (7) 消火薬剤(クラスA泡消火薬剤)

ア 泡原液(クラスA)は、環境に優しい環境保全型石鹼系消火剤とし、車体右側面前方シャッター内に交換容易なポリタンク(20リットル)式の原液容器を設置すること。

また、消火作業中の泡原液の補給を容易に行えるよう固定型の原液槽は設けないこと。

車体に専用補給電動ポンプを設け、容易に原液容器への補充が外部から行えるものとする。

イ 泡原液は、品質保証の観点から日本消防検定協会の型式を取得し、なおかつ型式適合検定に合格したものとする。

ウ 泡原液は、淡水または海水を使用した1%水溶液において、6倍以上の発泡倍率を有すること。

エ 泡原液の原料である界面活性剤は、化粧品原料規格2006適合品であること。

#### (8) 本装置での泡消火作業は、車体左右側面前方シャッター内の水ポンプ吐出口を使用し、コック操作により、容易に泡放射と水放水の切替えが可能な配管構造とすること。

なお、隊員の現場での操作性及び誤操作防止のためにも、消火泡吐出口をセパレートで設ける方式は不可とする。

#### (9) 圧縮空気泡消火装置(コンプレッサー、混合装置等)は、すべてポンプ室内に収納し、後面シャッターボックス等各ボックス内のスペースを減少させることなくホースや資機材を積載できること。(別途協議)

#### (10) 小型水槽

ア 容量は、600リットル以上とすること。(別途協議)

イ 水槽板面及び骨組を含めすべて一般構造用圧延鋼材(SS400)又はFRP製以上とすること。

ウ 積水口は、車体左右側面前方シャッター内に取付けること。(65mmオスキャップ付)

エ 積水口にボールコックを設けること。

オ オーバーフロー用パイプを取付けること。

カ 水量計を車体左右側面に取付けること。

キ タンク吸水口は、電動コックを使用し、液晶ディスプレイ内で操作可能とすること。

#### 15 吸水口

消防呼称75mmボールコック式(ストレーナ付)とし、車体左右側面前方シャッター内に各1個設置、車体左側面(助手席側)後方シャッター内に後方引出式の電動式吸管巻取装置を設け、75mm×10mの吸管を接続する構造とすること。

(連続呼水装置付)

根元には青色のマーキングを施すこと。

#### 16 放水口

消防呼称65mmボールコックとし、車体左右側面前方シャッター内に各2個取付けること。

また、すべての放水口にはマルチコネクタスieber吐水口媒介を取付け、左右キャブ側の1口については、圧縮空気泡消火装置の吐出口と併用すること。

圧縮空気泡消火装置の吐出口根元には黄色のマーキング、もう一方の吐出口根元には青色のマーキングを施すこと。

#### 17 中継口

消防呼称65mmボールコックとし、車体左右側面前方シャッター内に各1個取付けること。

根元には青色のマーキングを施すこと。

#### 18 安全装置

(1) 各吐水コックは、ノブを回すことによってロックできる構造とすること。

(2) P. T. Oが繋がっていない場合は、すべてのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作ができない構造とすること。

(3) ダイヤル型電子式スロットルには、安全ロック機能を設け、誤操作によるエンジン回転上昇を抑える構造とすること。

ただし、ロックした状態であっても安全方向側(スロットルダウン)には操作できるものとすること。

(4) 上限圧力設定機能を設け、あらかじめ設定したポンプ圧力を超えないようにエンジン回転速度を自動的に減速させる構造とすること。

(5) 流量計の流量の表示方法は、放水操作時の目安となるように流量の上昇によって表示色が変化すること。

(6) 真空形成装置は、破損防止のため自動揚水の場合、エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とすること。

(7) 現場での万一のトラブルや訓練先での確認事項に冷静に対処することができるよう、機器説明、点検整備方法、フローチャート式の故障対策を液晶ディスプレイに表示でき

- る構造とすること。
- (8) 安全装置として、ワンタッチでエンジン回転をアイドルまで下げることのできるスイッチを設けること。
  - (9) 誤操作による事故防止のため、ポンプスロットルは左右とも右回転でスロットルアップする構造とすること。

#### 19 不凍液注入装置

不凍液は、外部ホースを取付け注入する方式とすること。

#### 20 塗装

- (1) 車両は、朱赤色とし、塗料はVOC(揮発性有機溶剤)削減、環境負荷物質(鉛など)を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。
- (2) 車両は、十分に錆落としの上、プライマー・パテ・サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させ朱赤色ウレタン塗装により3回以上の塗装を行うこと。
- (3) シャッター(左右各2枚・後面1枚)は、朱赤色(車体と同色)とすること。
- (4) アルミ縞鋼板使用部は、無塗装とすること。
- (5) 車両下回りは、黒色塗装とし、防錆塗装をすること。

#### 21 記入文字

- (1) キャブ左右側面後部ドアに丸ゴシック体・反射白文字・左読みで「燕・弥彦消防」と記入すること。
- (2) キャブ前面左側フロントガラス下部に丸ゴシック体・反射白文字で、「吉田P1」と記入すること。
- (3) 車体後面右側下部に丸ゴシック体・白文字で、「吉田P1」と記入すること。
- (4) 対空表示をキャブ上面に丸ゴシック体・白横文字で「新潟」、アルミ縞鋼板製ボックス上面に丸ゴシック体・黒縦文字で「燕弥彦P」と記入すること。(資料参照・別途協議)
- (5) 標識灯は、丸ゴシック体・黒文字で「吉田」と記入すること。
- (6) 車体後面シャッターに丸ゴシック体・白文字3段で「新潟県」「燕・弥彦消防本部」「吉田消防署」と記入すること。(資料参照・別途協議)
- (7) 車体左右側面(前・後)シャッターに事務組合が指定する文字・デザインを記入すること。(資料参照・別途協議)
- (8) 各計器類・資機材等には、ネームプレートの取付け又は書込みをすること。
- (9) バルブ・コック類には、名称及び開閉方向を表示すること。
- (10) 各箇所における記入文字の大きさ・シャッター内のデザインについては、別途協議とする。

(11) 車両寸法表示を下図のとおり作成すること。

車両名称	吉田ポンプ1	縦70mm×横100mm程度 プラスチック板に掘り込み文字 (検査受検後に作成すること。)
登録番号	.....	
全高	000 m	
全幅	000 m	
全長	000 m	
定員	000 名	
車重	000 kg	
対空表示	新潟 燕弥彦P	

## 22 その他

仕様の更新等により変更が生じた場合は、別途協議すること。

## 第4 旧車両に関する事項及び廃車手続き

平成16年2月登録の消防ポンプ自動車(名称:吉田ポンプ2)「新潟800さ7540」は、一時抹消登録とし、車両に貼付してある名称等をすべて剥がしたのち、赤色灯及びサイレン等を取り外して事務組合に納入すること。また、登録にかかる書類を事務組合に提出すること。

## 第5 補則

### 1 納入納期

- (1) 北陸信越運輸局新潟運輸支局長の新規登録を受けた後、緊急自動車届出確認書を添えて各部の点検整備を実施のうえ、燃料を満タンにし納入すること。
- (2) 納入場所は、燕市吉田浜首408番地1 燕・弥彦総合事務組合消防本部とする。
- (3) 納期は令和6年3月29日(金)とする。
- (4) 車両本体と別に納入可能な物品の納期については、組合と協議すること。
- (5) 事務組合が必要と認めた場合は、納期を延期することができる。

### 2 検査

「消防車両の安全基準について」において示されている「第三者機関による認証」は、日本消防検定協会による安全基準への適合の検証を行うこと。

ただし、消防ポンプ自動車にかかる受託個別試験手数料は受注者が負担すること。

### 3 保守

納車後10年間の保守点検、整備等にかかる経費一覧表を提出すること。

#### 4 その他

その他の経費が発生した場合は、受注者側が負担するものとする。

なお、その他の経費について疑義が生じた場合は、事務組合に速やかに連絡し承認又は指示を受けること。

## 別表

## 取付品・附属品

## (1) シャシ取付品・附属品

No.	品名	内容	数量
1	シャシ	150馬力 4WD Wキャブ MT エアコン、パワーウィンドウ、パワーステアリング、VSC（車両安定制御装置）、EBS（電子制動力分配制御）機能付ABS（アンチロックブレーキシステム）、TRC（トラクションコントロール）、FUP（フロントアンダーランププロテクター）、オルタネーター80A、キーレスエントリー（3個）、ポスト新長期対応車	1式
2	自動車工具	工具セット SK3481S KTC	1式
		点検ハンマー UDHT-2 KTC	1個
3	フロアマット	純正品 キャブ前後席	1式
4	フロントバンパー	アルミ縞板張	1式
5	フロントグリル	メッキ仕様	1式
6	アルミプロテクター	フロント・リアドア左右開口部	1式
7	アルミプロテクター	左右リアホイールアーチ部	1式
8	フォグラмп	左右一式	1式
9	アウトサイドミラー	運転席・助手席電動格納式 熱線リモコン 2面鏡式ミラー（各1）	1式
10	車輪止	合成ゴム製	2個
11	三角表示板		1個
12	発煙筒	車両標準装備品	1個
13	非常信号灯	点滅機能・マグネット付 単II電池付	1本
14	ブースターケーブル	大型車用	1組
15	牽引用ワイヤー	長さ5m	1本
16	スタッドレスタイヤ	ブリヂストン 205/85R 16 ホイール付 （スタッドレスタイヤを装着し納車すること）※予備タイヤ1本を含む ※ホイールから取り外した普通タイヤはタイヤのみで納品すること	7本
17	タイヤチェーン	ケーブルチェーン 収納ケース付	1式
18	バッテリー	130E41R	2個
19	坂道発進補助装置		1式
20	後退警報器	音声式	1式



21	後退警報器切替スイッチ	ON/OFF スイッチ	1 式
22	サイドバイザー	純正品 4 面	1 式
23	補助サイドミラー	助手席側	1 個
24	ナンバーフレーム	ステンレス製	1 組
25	泥除けゴム	全輪	4 枚
26	スノーブレード		1 式

(2) 取付品及び取付装置

No.	品 名	内 容	数量
1	標準艀装	キャフス付CD-I型 ハイルーフ仕様	1 式
2	赤色警光灯	キャブルーフ赤色警光灯 (LED) 一体型 ハイルーフ式 (スピーカー内蔵)	1 式
3	赤色点滅灯 (フロント前照灯上部左右対称の位置)	WIONBR24 ウィレン製	2 個
4	赤色点滅灯 (フロントバンパー左右側面对称の位置)	VTXFCR (24V) ウィレン製	2 個
5	赤色点滅灯 (車体上部立ち上げパネル左右側面对称の位置)	M7FCR24 (24V) (リレーUFL28DOT 付) ウィレン製	6 個
6	赤色点滅灯 (車体後面上部左右対称の位置)	M6FCR24 (24V) (リレーUFL28DOT 付) ウィレン製	2 個
7	標識灯 (キャブルーフ左右側面对称の位置)	ハイルーフ内蔵 黄色	2 個
8	作業灯 (キャブルーフ左右側面標識灯上部)	MYSW-L600H-W	2 個
9	作業灯 (車体上部立ち上げパネル左右側面对称の位置)	M7ZC24 (24V) ウィレン製	4 個
10	作業灯 (車体後面上部左右対称の位置)	M6ZC24 (24V) ウィレン製	2 個
11	照明装置	SLD-R120 80W 手動伸縮柱 SUD-3D 湘南工作所	1 式
12	電子サイレンアンプ	TSK-D152 大阪サイレン製 音声合成装置付 専用マイク付 フレキシブルマイク付 UD-200 助手席側上部	1 式
13	電動モーターサイレン	ハイルーフ内蔵型	1 個
14	モーターサイレン ペダル型マニュアルスイッチ	助手席足元奥	1 個
15	十連スイッチ	SBW-D1 リレーボックス付	1 式

16	消防章	樹脂製 150mm	1 個
17	ボックス灯・エンジン点検灯	LED 灯 (必要に応じて増設すること)	18 個
18	路肩灯 (メインスイッチ付)	左右 バス型 (LED 式) 保護枠付	2 個
19	室内灯	天井埋込型 LED 灯	2 個
20	マップランプ	助手席 1 個・後部座席 3 個 CL-OS1D24 (24V) ウィレン製	4 個
21	P. T. O スイッチ	車体左右のポンプ操作装置付近	1 個
22	ポンプ圧力計	100mm 丸型 透過光照明灯付	2 個
23	ポンプ連成計 (リタード式)	100mm 丸型 透過光照明灯付	2 個
24	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1 個
25	エンジン油温計	シャシ固有のもの	1 個
26	流量計	デジタル式	2 個
27	積算流量計	デジタル式	2 個
28	アワーメーター	コンプレッサー用	1 個
29	オイルパンヒーター	1.5m 専用コード付 (マグネット式)	1 式
30	ポンプアンダーカバー		1 式
31	不凍液注入装置		1 式
32	地図収納ボックス	縦型書類BOX 前方張出 (パンチング板) 後部座席握り棒中央部	1 式
33	面体掛用フック (後部座席用)	ステンレス製 後部座席背面	3 個
34	バッテリー引出し装置		1 式
35	助手席空気呼吸器取付装置	座席内蔵型	1 式
36	牽引用フック	キャブ前部	1 式
37	キャブチルト梯子連動装置	梯子昇降装置連動型	1 式
38	シャッター警告装置	シャッター「開」キャビン内警告表示機能	1 式
39	圧縮空気泡消火装置	キャブ装置 国産品	1 式
40	三連梯子昇降装置	手動式 (3) 付属品 20 とび口×2 収納あり)	1 式
41	ホースカー昇降装置	電動昇降装置	1 式
42	空気呼吸器取付装置	クイックホルダー BAB200 (長取手仕様)	3 基
43	昇降用梯子	アルミ製展開式 車体後面右側	1 式
44	外部文字記入	キャブ左右側面後部ドア、キャブ前面左側 フロントガラス下部、車体後面右側下部、 キャブ上面、車体左右側面 (前・後) シャ ッター及び車体後面シャッター バッテンバークマーキング、シェブロンマ ーキング 既存車両 記入文字変更及びデザインマー	1 式

		ク変更 (資料参照・別途協議)	
45	ドライブレコーダー	タッチパネル式 ※録画形式は汎用性が高い形式で、専用アプリ等を介さず、容易にPCで視聴できること。	1式
46	カーナビゲーションシステム	インダッシュ式 (別途協議)	1式
47	携帯拡声器	TR-215SA ユニペックス製	1個
48	無線電話装置 (車載)	本体支給品移設、アンテナ・車外通話装置新設	2式
49	AVM装置	本体支給品移設、制御ケーブル新設	2式
50	アルミシャッター	車体左右側面各2枚、後面1枚	1式
51	バックアイカメラ	8インチ前後のモニター付 (キャブ内)	1式
52	小物入れ用収納	キャブ内 (運転席と助手席の間)	1式
53	ステンレス製手摺 (S字環フック付)	空気呼吸器固定装置上部収納棚下部	1式
54	大型デジタル時計	キャブ内	1式
55	100V二口コンセント	キャブ内 (運転席と助手席の間) ※差込面はこの設置場所は別途協議	1式
56	シート防汚カバー	全席	1式
57	リアヒーター	後部座席用	1式

### (3) 附属品

No.	品名	内容	数量
1	吸管	LF-RS 75mm×10m (ACエキスパン金具) エルボ (株岩崎製作所ビッグマウス) 付 (後方引出式: 自動巻取装置付)	1本
		LF-RS 75mm×2.5m (ACエキスパン金具)	4本
2	吸管ストレーナー	ストカゴ セット3 16SKGF3P	2式
3	吸管ちりよけ籠	(ストカゴ、ヒッパラー媒介、フック付ロープ、65町	
4	吸管ロープ	野式お金具媒介) 岩崎製作所	
5	吸口ストレーナー	プラスチック製	2個
6	中継口用ストレーナー		2個
7	吸管枕木	ゴム製	2個
8	消火栓金具	呼称 75 メスネジ×呼称 65 差込メス (AC)	2個
9	中継用媒介金具	呼称 65 メスネジ×呼称 65 差込メス (AC)	2個
		呼称 65 差込メス×呼称 65 差込メス (AC)	2個
		呼称 65 差込オス×呼称 65 差込オス (AC)	2個
10	ストップバルブ	岩崎製作所 STバルブ (50A)	4個
11	放口媒介金具	呼称 65 メスネジ×呼称 65 差込オス (AC)	

		YONE MC スイベル吐水口媒介 (呼び 50, 65 ANS-65MC) ※CAFS 吐水口	2 個
		YONE スイベル吐水口媒介 (呼び 65 ANS-65)	2 個
12	差込式異径媒介金具	呼称 50 差込メス×呼称 40 差込オス (AC) 岩崎製作所 イワマチ媒介	1 個
		呼称 40 差込メス×呼称 50 差込オス (AC) 岩崎製作所 イワマチ媒介	1 個
		呼称 65 差込メス×呼称 50 差込オス (AC) 岩崎製作所 イワマチ媒介	3 個
13	消火栓・防火水槽開閉金具	地上式消火栓 40 口No.1 北川鉄工所	1 本
		地上式消火栓 40・20	1 本
		地下式消火栓 MH28 型キーハンドル	1 本
		地下式消火栓 09KB1000SS 岩崎製作所	1 本
		フック式マンホールキー 09FMAN00SS 岩崎製作所	2 本
14	吸管スパナ		2 本
15	管そう	YONE e ノズルホルダー ガンタイプノズル型 PEH-50A	2 個
16	ノズル	TS-4001 23mm・26mm 各 1	2 個
17	可変噴霧ノズル	スパコンノズル NH-50SC	3 個
18	特殊ノズル	ボアテックスノズル NV-50VX	4 個
		ガンタイプノズル TS-0501-S NM-V-S 50mm	1 個
		バブルカップノズル FN50-BC	1 個
19	ノズル立て	スパコンノズル NH-50SC 用 エコファイターノズル 50mm 用 e ノズルホルダー ガンタイプノズル 型 PEH-50A 用 (2 個)	4 個
20	とび口	ライトキュー ベンチレーションとび口 1,800mm	1 本
		ライトキュー 多機能とび口 1,520mm	1 本
21	金テコ	ラクラク 39 バール 1,180mm	1 本
22	スコップ	剣先	1 本
23	斧	千吉 グラスファイバー柄アックス 700mm	1 本
24	ホース延長用資機材	加納式ホースカー TS-130 ブレーキ付、カバーシート付、 上部枠付 (ホースバッグ等積載対応) ノズル立て (左右各 1)	1 台

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スパコンノズル NH-50SC 用</li> <li>・ガンタイプ TS-0501-S NM-V-S 50mm用</li> </ul> 分岐管、媒介等立て (65 オス) ×2	
25	三連はしご (チタン製)	MTTL-387 (全長 8.73m) 横さん補強型	1脚
26	消火器	ABC 粉末 20 型 (自動車用)	1本
27	ポンプ工具		1式
28	消防ホース ※ホースは白色で袴部に指定する 印字処理を施すこと (25mm ホース 除く)	50mm×20m 1.6Mpa アシメトリックインエースα	10本
		50mm×20m 1.6Mpa ヨコイ PRO AR16	10本
		65mm×20m 1.6MPa アシメトリックインエースα	30本
		65mm×10m 1.6MPa アシメトリックインエースα	4本
		25mm×20m FogNail Hose 消防衫受口差 口	5本
29	分岐管	岩崎製作所 イワマチマルチ双口接手 65メス/65・50マルチオス 背面ゴムカバー付	2個
30	ホースブリッジ	(株)大阪サイレン製作所 コンパクトブリッジ CB450 両輪分	1式
31	ホースバンテージ	HB-100	10枚
32	ホース結束具	BE-007	10本
		かちっとくん	10本
33	スタンドパイプ	YONE 双口バルブ付スタンドパイプ PS-65DV 715mm 不動型	1本
34	低水位ストレーナー	流線型 RYU-SEN-KEI	1個
35	照明器具	LED 投光器 ポータブル電源セット (株)ライズ 218-420 発電機 EU9i インバータ式 900VA コードリール BF-301K	1式
36	空気呼吸器	NM30 (CS 面体首掛け紐付) 収納袋付 面体保護シール、コーナーテープ付	4式
		FRP カーボンボンベ 6.8ℓ 29.4MPa 保護カバー付	4本
37	予備ボンベ	FRP カーボンボンベ 6.8ℓ 29.4MPa 保護カバー付	4本
38	携帯警報機	モーションスカウト K-T-R キー付	4個
39	エンジンカッター	K770Rescue 12インチ ハスクバーナ	1式
		ダイヤモンドブレード EZ-300 ハスクバーナ	2枚

		レジノイドブレード金属用 ハスクバーナ	10枚
		レジノイドブレード非金属用 ハスクバーナ	5枚
		燃料携行缶 50缶	1個
40	充電式チップソーカッター	マキタ 185mm 充電式チップソーカッター CS001GRMX	1式
		185mm DCホワイトメタル(ステンレス兼用)	5枚
41	山林火災用水のう	ジェットシューターS	3個
42	熱画像直視装置	熱画像直視装置 FLIR K55	2台
43	アルミボックス	・アルミ縞板製(別途協議) 車体上部右側 ・アルミ製(別途協議) 左右前方シャッター内各1 ・アルミ製(別途協議) 左シャッター内吸管下	1式
44	携帯ガラス破壊器具	ウインドポンチ ホルマトロ製	1個

- ※1 消防用ホース（結合金具を除く）の規格は、消防用ホースの技術上の規格を定める省令（昭和43年 自治省令第27号）によること。
- 2 消防用ホース、吸管、ノズル等の結合金具の規格は、消防用ホースに使用する差込式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成4年自治省令第2号）及び消防用ホースまたは消防用吸管に使用するネジ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成4年自治省令第3号）によること。
- 3 吸管（結合金具を除く）の規格は、消防用吸管的技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第25号）によること。

#### (4)その他の積載品

No.	品名	内容	数量
1	泡消火薬剤	マルチA 鑑定品（石けん系環境保全型） 18リットル缶	5缶
2	携帯投光器	ファイヤーバルカン 180 IEC 防爆 標準セット	2個
3	LED合図灯	LED点滅・点灯式 手元灯付 単II電池付	4本
4	立入禁止テープ	消防用 100m 巻	3巻
5	ホースバッグ	SQ-AL-02 セイバーズ ホースバッグ FS3 型	3個 3個
6	ラジオハーネス	アラミドラジオハーネス RD3 燕・弥彦消防仕様	2個

7	カラビナ (ステンレス製)	トラスティ10 オートロック TOWA	10個
8	デジタルカメラ	オリンパス TG-6 (又はその後継機種) 色:ブラック	1式
		SDHCカード 32GB CLASS10	1枚
		予備バッテリー LI-92B	1個
		スポーツフォルダー CSCH-123 オレンジ	1個
9	ウェアラブルカメラ	FIRE CAM mini グローバルマウントセット	5個
10	フォグネイルシステム	システムセット一式	1式
11	可搬式ブロアー	SUPER VAC BATTERY PPV Makita V-16 YS-SV16-MAKITA-CA 【オプション】 ・XGT40V 5.0Ah バッテリー 2個 ・充電器(DC40RA) ・ショルダーストラップ	1式
12	ハリガンツール	ライトレスキュー レガシータイプハリガン ライトレスキュー レスキューウェッジ ライトレスキュー マリードストラップ	1式
13	セーフティーコーン	蛇腹折りたたみ式 反射材付 フラットセーフティーコーン FSC-ABS55	4個
14	クイックホールサイン	セイバーズ 280-005	1個
15	防爆ハンドライト (充電式フラッシュライト)	ストリームライト プロポリマー 3C ハズロ	2個
16	火災対応用ライト	STRIPELIGHT YSRR-SL1	2個
17	ロープバッグ	セイバーズ ロープバッグ HP-1	3個
18	給水栓付き町野メスキャップ	BENRI CAP	1個
19	脈動制御圧力計	YONE PG-50	1個
		YONE PG-65	1個
20	オートロール	Courant AUTO ROLL V6 MAX	12個
21	ムーリングカラー	Courant BA MOORING COLLAR	12個
22	押輪安全リング	50mm用 ライズ 392-086	20個
23	金属探知機		1個
24	無線局免許変更分	2台分	2台